

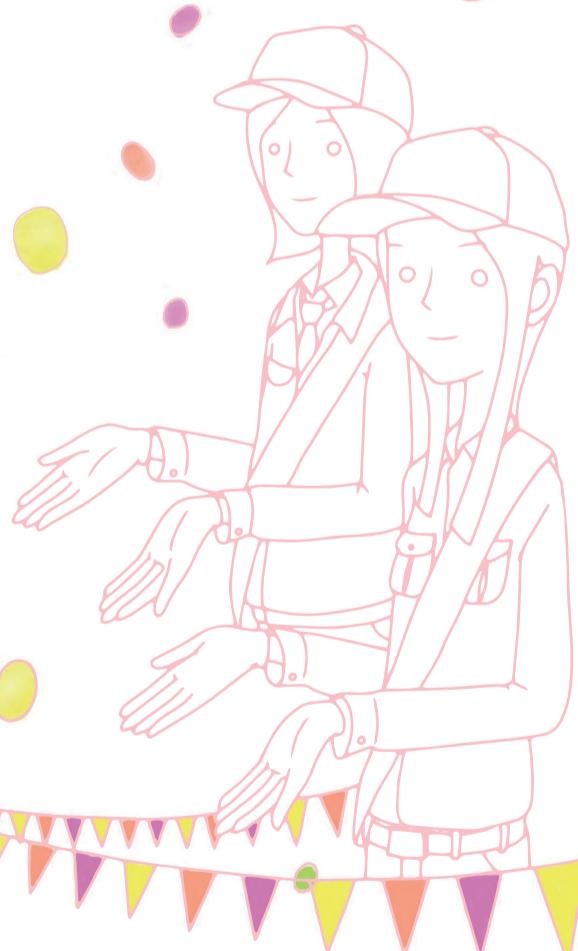
みんなで造る  
ひとつの街。

海に浮かぶ「街」を造るのが造船です

Presented by nichizokyo

2019

LIFE STYLE BOOK FOR WOMEN



Presented by nichizokyo



# みんなで造る ひとつの街。

海に浮かぶ「街」を  
造るのが造船です

一船ってどうやって造るか、  
何でできているか知っていますか？

答えは鉄です。おもちゃの船なんかだとプラスティックや金属の鏡物でできていたりしますが、実際の船は分厚い鉄板を曲げたり溶接したりして加工し、あの形を造っていきます。「海上で船は気象の変化でものすごく熱されたり、逆に極度に冷えたりします。また、波や風でいろんな方向からすごく力がかかるのです。現在のところ鉄以上に信頼できる素材はないんですよ」と造船所の人に教わりました。船の形がひとつひとつ違うのも、用途や航路に合わせた別注品だからです。

一世界にひとつの巨大なものづくり、  
それが造船です。

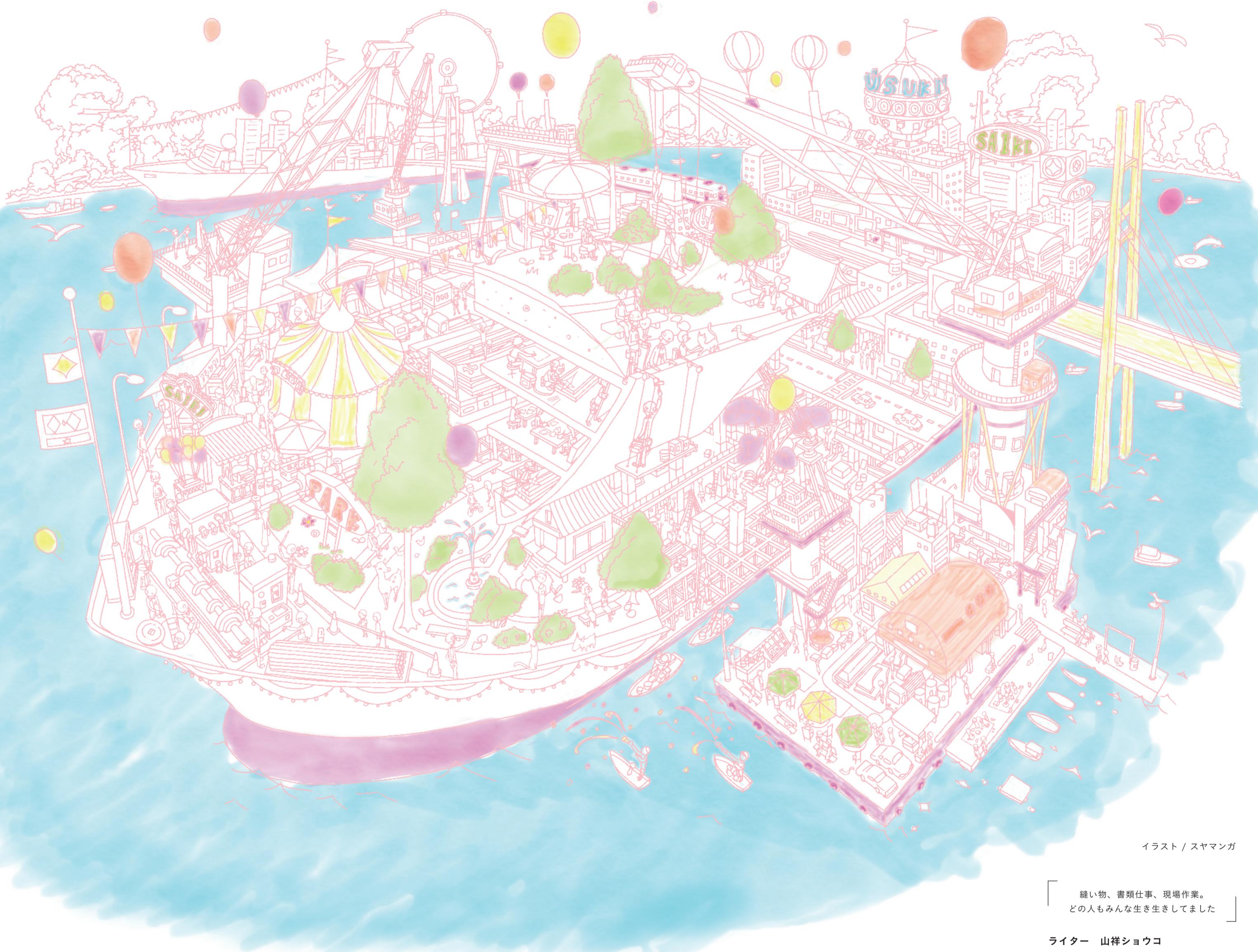
九州の豊後水道に面する2つの造船所、白杵と佐伯を訪れて、造船にかかわる女性の皆さんに話を聞いてきました。「これはそんなに大きい船じゃないよ」という船でも、甲板に立ってみると高校球児が遠投したら届くかどうか、という広さがありました。高さはもはやビルです。

そこで学んだのは、船を造るということは、まるで街をひとつ造るようなものだということです。

水道や電気などのインフラから設置し、船の中だけで完結しないと航海できません。だから陸上の街の建設と同じで、そこにはさまざまな仕事があり、オフィスワークも屋外作業もあり。中には「縫う」みたいな、一見造船とは関係なさげな職務もあります。

何百人、あるいはのべにすると何千人の人が、自分の担当の仕事をしながら、数ヶ月かけてみんなでひとつの船を完成させる。造船、すごいです。

造船所は大きな家族のような場所でした。  
そこで働く女性たちがどんな仕事をしているか、どんな生活をしているのか、次ページからご覧ください。



縫い物、書類仕事、現場作業。  
どの人もみんな生き生きしてました

ライター 山祥ショウコ

マガジンハウスで『GINZA』などの立ち上げに携わった後独立し、食・住にかかわるデザインや日本のものづくりを中心として執筆活動を行う。本当に価値のあるものやライフワークバランスのとれた生活を伝える、をテーマとしている。



1.浅野さんのいつもの仕事スタイル  
2.狭い船上での溶接は小柄な人に向いている  
3.キレイに仕上がった溶接部分とはこんな感じだとか



3

「おもしろい仕事で、作る楽しさで頑張れます」  
有限公司会テクノス  
浅野 京子さん

「男女の別なく食べていいける  
船は居住区と呼ばれる航海中に人が生活する部分までも含めて、ほぼ全部鉄でできているので、金属と金属を合わせてくつける溶接は造船ではなくてはならない職務です。造船所の中を見学していると、女性の溶接工!! 溶接女子をちらほら見かけます。といってもマスクに防護服にヘルメットをかぶっているので、業界わりに顔を見るまで性別はわからないのですが。そんな溶接女子の一人、浅野さんにお話を聞いてみました。

「もともと事務員をやっていたんですけど、コツコツ一人でできてしまふし、むしろ女性の丁寧さが評価される」という浅野さん。「バリバリの男性社会かと思いつきやそんなことはまったくなくて。トイレなんか改善してもらいました」

「船の溶接は奥が深いです。やればやればほどもっと技能を磨かんといかんない」と思う。専門的溶接の資格も3年に一度テストがありますよ。

「きちんとキレイに欠陥がない溶接ができたときの達成感が仕事のモチベーションを上げるのだと。仕上がりをチェックする癖がついているので、自家のパイプベッドのような日常用品の溶接などもついついチェックしてしまいます。手に職なので食いつぱぐれがない。何より作る楽しさがあります。後輩ができるといいなあ」

### 周りの溶接をつい確認

溶接の仕事は技能第一なので、きちんと仕事をしていれば男女の別もなじむしろ女性の丁寧さが評価される」という浅野さん。

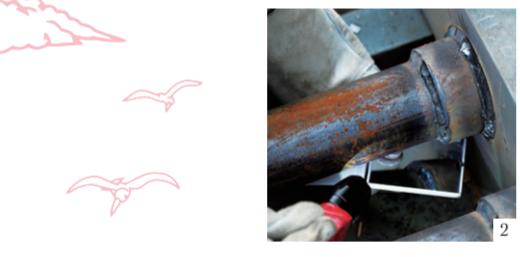
溶接にもいろいろ種類がありますが、今彼女が担当しているのは半自動溶接と呼ばれるもので、ワイヤーと一緒に溶接などを手がけているのが、いいですね」とありますよ。

「船の溶接は奥が深いです。やればやればほどもっと技能を磨かんといかんない」と思う。専門的溶接の資格も3年に一度テストがありますよ。

「きちんとキレイに欠陥がない溶接ができたときの達成感が仕事のモチベーションを上げるのだと。仕上がりをチェックする癖がついているので、自家のパイプベッドのような日常用品の溶接などもついついチェックしてしまいます。手に職なので食いつぱぐれがない。何より作る楽しさがあります。後輩ができるといいなあ」

### 2 パイプ溶接

「どんなお仕事？」  
パイプは船のインフラなので、あらゆる部分にパイプが走っています。そのパイプ配管を溶接するこの仕事は日本海事協会の船級の溶接資格が必要。狭い部分の手鏡で写して作業するなど、細やかさと正確さ、そして高い技術が必要です。



2



3



有限公司会テクノス  
安藤 真理子さん



3

1

1.いい溶接ができた時の安藤さんの笑顔  
2.見えないところは手鏡に写して溶接  
3.仮組みされた船上のパイプを溶接する

### 見えないところも溶接する高い技術

#### Uターンをきっかけに溶接へ

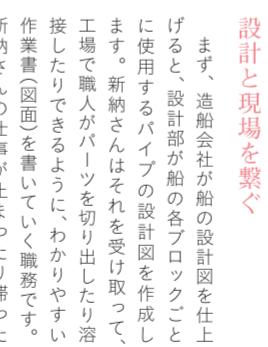
「船は上も下も配管だらけ。現在担当しているのは船員や船客が生活する居住区のライフライン(水・トイレなど)だそうです。陸の配管工事と違うのは、船はUターンで溶接場所を確保できるよう小さな物が必需品なのです」と二ヵヶ月と笑う安藤さん。

元々東京で普通のO-Jをしていましたが、担当している安藤さんは仕事していなかったところをまず見せてもらいました。

「ここは船の居住区なんですが、そのままでは電気・ガス・水道といった地上には電気・ガス・水道といったインフラが各自治体や会社によって備えられています。なぜなら、私たちが普段暮らす船では、それが海上を走行する船では、それをいちから造らなくてはならないのです。

新納さんが働く大分総業は主に船のパイプ類を造る会社。実は新納さんはその受け取って、現場で溶接がバーツを切り出したり溶接していくようにわかりやすい作業書(図面)を書いていく職務です。

新納さんの仕事が止まつたり滞ります。新納さんはそれを受け取って、工場で職人がバーツを受け取って、フルマはないですが、一週間に作成する図面は500~600本くらい。最初は慣れなくてそこまでこ



1.20代の新納さん。この仕事は求人票で見つけた  
2.1週間に500~600本の図面をこなしていく  
3.パイプに取り付けるバーツもそれぞれ違う  
4.新納さんのオーダーに従い溶接されパイプが仕上がる  
5.完成したパイプは船の重要な部分となる

管理能力が試されます!!



6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

53

54

55

56

57

58

59

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

82

83

84

85

86

87

88

89

90

91

92

93

94

95

96

97

98

99

100

101

102

103

104

105

106

107

108

109

110

111

112

113

114

115

116

117

118

119

120

121

122

123

124

125

126

127

128

129

130

131

132

133

134

135

136

137

138

139

140

141

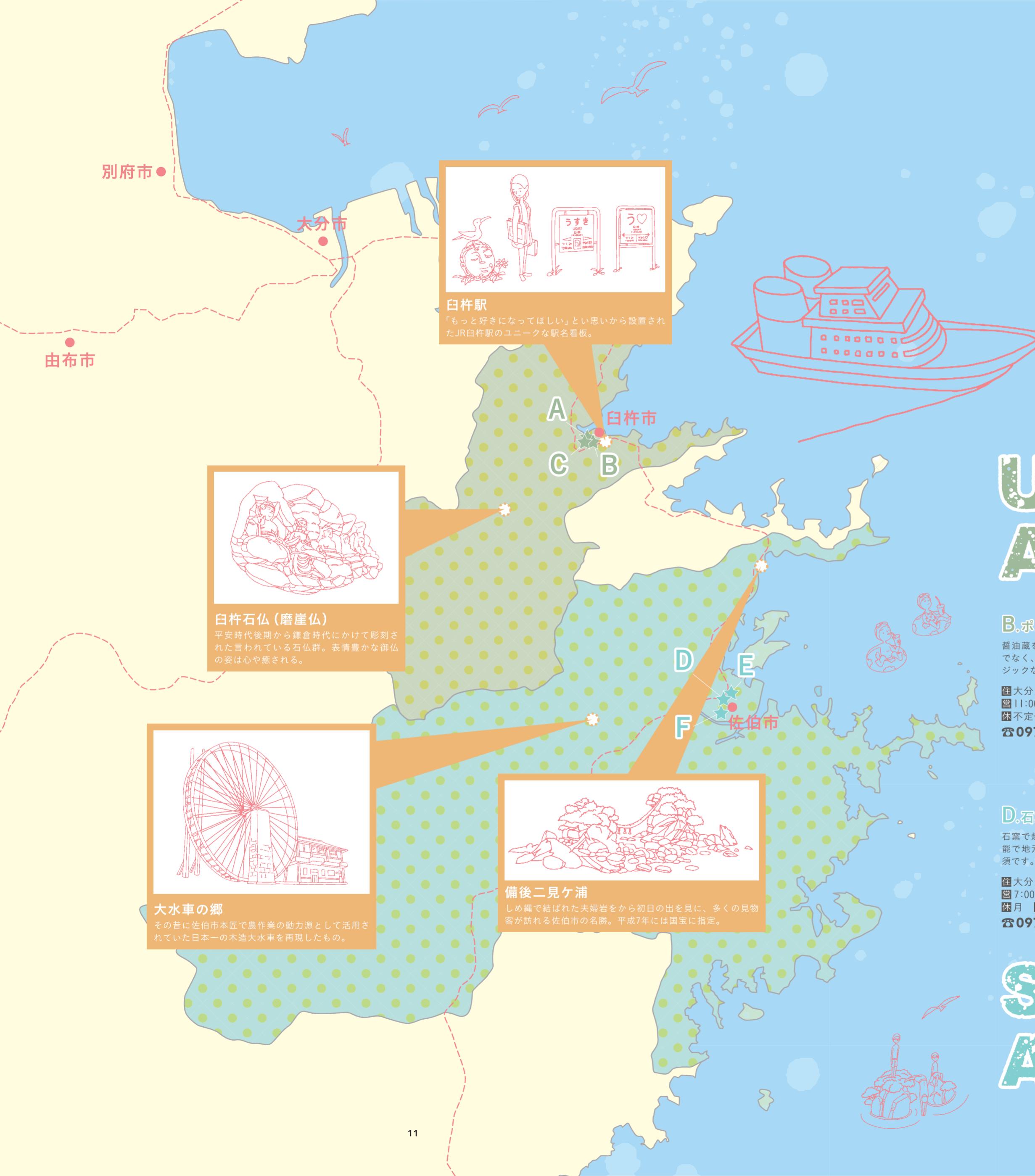
142

143

144







## AREA MAP

### 過ごす街の 行きつけスポット

それぞれの地域の魅力を感じながら、日々生活しています。  
休日に行きたいお気に入りのカフェや地元の人しか知らない場所など、  
知れば知るほど住む街が楽しくなってくる♪

## USUKI AREA

### B.ポルト蔵

醤油蔵を改装したこのお店は大分の郷土料理が味わえるだけでなく、深夜2時まで開いている。マスターの人柄とノスタルジックな店内が素敵な喫茶店です。

■ 大分県白杵市白杵206-2  
■ 11:00-17:00 / 19:00-26:00  
■ 休不定休 駐なし  
☎ 0972-63-6511

### D.石窯パン工房 モヨモヨ

石窯で焼いたパンの香りが漂うパン屋さん。イートインも可能で地元の方も続々と訪れます。名物カレーパンは売切れ必須です。

■ 大分県佐伯市来島町27-19  
■ 7:00-19:00  
■ 休月 駐あり  
☎ 0972-23-4611

## SAIKI AREA

### A.カフェかぎや

味噌蔵が経営する自家製味噌ダレの味噌ソフトクリームが名物の人気カフェ。400年前の町家を改装した店内で、歴史を感じながらくつろげます。

■ 大分県白杵市白杵218  
■ 9:00-18:00  
■ 休火 駐あり  
☎ 0972-63-1177

### C.農民カフェ 大分白杵店

自家製の野菜を使ったオーガニックプレートが味わえるおしゃれな人気店。ゲストハウスとしても運営しているので、そのまま宿泊も可能です。

■ 大分県白杵市白杵241-1  
■ 11:00-17:00 (売切次第終了)  
■ 休不定休 駐なし  
☎ 0972-63-3447

### E.いさりび

テイクアウトもOKな昔ながらの喫茶店。名物のいさりびカレーは絶品でお昼時は行列のできる人気店です。他にもメニューが豊富で楽しめます。

■ 大分県佐伯市浄化東町2-37  
■ 10:00-21:00  
■ 休日 駐あり  
☎ 0972-23-8737

### F.カフェレストラン BAL

肉も野菜もタップリな体にやさしい手作り料理のお店。バランスのとれた料理として幅広い層から支持を得ています。オススメはオムライスと焼きカレー♪

■ 大分県佐伯市船頭町1-24  
■ 10:00-21:00  
■ 休日 駐あり  
☎ 0972-22-5201

*May your life be  
full of happiness!!*

